

平成 30 年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時 平成 30 年 11 月 7 日（水） 午後 6 時 30 分～8 時 20 分

場所 鳥沼会館

参加者数 38 人

市側出席者

市長	北 猛俊
副市長	石井 隆
総務部長	稲葉 武則
市民生活部長	山下 俊明
保健福祉部長	若杉 勝博
経済部長	後藤 正紀
建設水道部長	吉田 育夫
教育部長	亀渕 雅彦
ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
企画振興課長	西野 成紀
財政課主幹	高田 敦子

【市長 開会のあいさつ】

9月20日から始まった地域懇談会、当時は暖かい日が続いていましたが、最近は寒くなり、足元が悪いなか、お疲れのなか、たくさんの方にお集まりをいただきお礼を申し上げます。就任してから6カ月になりますが、この間、臨時議会、定例議会のなかで議員の方々からもまちづくりに関する意見をたくさんいただいています。

地域懇談会では、各地域の市民のみなさんからも貴重なご意見をいただいています。この地域懇談会は、本日で終わりになりますが、市長室トークや市長出前トークを通じて、この後も意見交換ができる場を設けていますので、本日で足りない部分があれば、そうした機会を利用していただけると幸いです。

本日のテーマは、JRの関係、新庁舎の関係ですが、いち早く市民のみなさんにお知らせするために9月20日から始めて、今日は11月7日です。この間、新聞報道のほか、新庁舎検討委員会も2回行われ、それぞれ動いていますが、これまでの経過と市の考え方について説明をさせていただきます。また、鳥沼と大沼の地域課題についても伺いたいと思います。

限られた時間ですが、貴重な時間を有意義に過ごさせていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 鉄路のあり方

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○人を乗せるだけでなく、たまねぎ輸送のことや貨物のこともあるので、ぜひ残してもらいたい。特に、幾寅にも農協の施設があるので、貨物も含めたなかで存続を考えてほしい。</p> <p>○JR九州がなぜ一部上場できたのか。昨年JR九州に乗ってきたが、窓口対応が良い、路線やネットワークの作り方が良い、特別列車が人気で商売が上手だと感じた。根室線は貨物専用にして、駅を不要にしてはどうか。駅を廃止して人件費コストを減らせる。人はバスで、貨物は鉄路とすることでコスト削減できるのではないか。ぜひ数字的に試算して検討してほしい。鉄路は基幹産業の農業にとっては輸送コストを安くするためにも大事。貨物専用鉄道にして費用削減効果を検討してほしい。</p> <p>○北海道は人口が札幌に集中すると鉄路は赤字になる。赤字をずっと補てんしていくには無理がある。しかし、農作物は東京の方まで、</p>	<p>○JRは、旅客だけでなく貨物もあります。JRで運んでいるコンテナ70個分をトラック輸送に変えると24人の運転手が必要になります。この運転手の人材不足もありますので、大量輸送という形では鉄路はどうしても必要だと考えています。基幹産業は農業と観光です。鉄路はなくせないという意欲もって取り組んでいるところです。</p> <p>○富良野一新得間の旅客は少ない状況ですが、石勝線は一日12本、年間85万トンの貨物輸送をしています。道東と道北を結ぶ災害時の</p>

何とか今までのコストで運んでもらいたい。全道規模で考え、農作物を輸送するための路線は残す必要がある。学校や生活で使うのはバスの方がコストも安く、利便性も高い。将来的には、観光は可能性がある。観光客が車で走ると事故が多くなるので、バスと鉄路で観光を呼び込み、全道を周れるような路線を考え、将来、黒字になる路線として残していくことを考えてほしい。

○鉄路や新庁舎などで歳出が増える話が多いが、歳入が増えるような見通しはないのか。

代替ルートとして必要だということを市としても訴えています。また、新たな観光の可能性として、ふらの、サホロ、トマムの3つのリゾート地を広域周遊できるようなことも考えているところです。北海道に訪れる外国人観光客は280万人で、道庁は2020年には500万人に増やしたいと訴えています。そうした外国人観光客や周遊観光ルートとしても鉄路は重要ということを訴えています。本日の北海道新聞でも、道として全道的な協議会を設置し、オール北海道で鉄路の維持存続に取り組みたいとの動きもあります。そうした動きに、市としても関わっていきたいと考えています。

○ふるさと納税は、還元率を寄付額の3割以内にする見直しが行われますが、富良野市は3割以内で、特産品を商品にしています。さらに効率的な方法を検討しています。全国から応援をしていただけるような返礼品を考えています。

2. 新庁舎建設について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○国立人口問題研究所で発表している将来の人口推計では、30年後には1万4千人から1万6千人。人口が減ると地方交付税が減ることで、財政規模も縮小する。借金を毎年1億7千万円返すのは、固定経費で変動しない。そうしたことを想定した収支のシミュレーションをしてほしい。建設場所は、ほかに選択肢はないのか、1,000年の1度の大雨のときに水没する、災害拠点としてあの場所で良いのか、場所や代替案をいろんな角度から検討してほしい。補助金の関係で拙速に進めたいのはわかるが、住民の理解を得ることを大事にしてほしい。回答は不要。</p> <p>○市の新庁舎や鉄路はいろんな考え方があるが、次の世代の人たちが最低限困らないような方向で、全てのことがありきではなく、次の世代につなぐという意識で考えてほしい。どの答えでも満足のいくものではなく、どこまで妥協できるのかだと思う。</p>	

○新庁舎建設は、歳入予算が減ることにポイントがある。人口が減っていき、次の世代にかかる負担の割合が大きくなる。それが30年間続くとすると、次の世代は稼いでも自分が潤わないようなことにならないか。新庁舎建設にあたり、寄付を募ってはどうか。自治体ではあるが、自分たちで収入を生むような、企業的な自治体になっていかなければ次の新しいものが見えてこない。そうしたことも考えてほしい。

○国の補助を探すことも歳入を増やすことになります。担当部署が補助事業を探し、歳入を確保しながら事業を実施することで、一般財源を節約することをしています。企業会計では、ワイン事業と水道事業がありますが、ワインは植栽を早くできません。水道は給水範囲を広げるためには設備投資が必要になります。現在のところ特効薬として歳入を増やすのは難しいと思っています。

3. 防災体制について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○地震のときに、市の給水車が来てくれて助かった。今回の震災についての反省などがあれば教えてほしい。</p>	<p>○地震防災の反省ですが、市の水道は断水することなく対応できました。一般家庭の地下水ポンプは停電で断水しましたので臨時給水で対応しました。市の水道が断水する情報が流れましたが、正しい情報を周知することができませんでした。ラジオを活用した情報伝達のほか、いろんな伝達方法を検討していきたいと考えています。庁舎内も停電しましたが、外部電源では、防災対策本部のある総務課と大会議室だけしか通電しませんでした。市の窓口は業務が停止し、市のホームページも見られない状況でした。今後、ハード面での防災体制も検討していく必要があると思っています。</p> <p>○今回の地震では、FMふらのは非常電源の準備をしてくれていました。市は割り込んで放送をしていましたが、放送を止めたあとに音楽が流れていたという反省があります。</p>

4. 地域課題など

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○鳥沼小学校の放課後子ども教室は、開設から2年になる。放課後の子どもたちは、安心安全のなかで毎日楽しく過ごしている。放課後子ども教室は、市内に5カ所あり、どこの教</p>	<p>○人材の確保は大変になっている状況があります。学童保育の支援員については報酬を上げるなどして対応していますが、それでも欠員がでている状況です。放課後子ども教室につ</p>

室も同じ状況だと聞いているが、人材の確保が課題になっている。スタッフのシフトの調整や社会教育課との連絡調整をするコーディネーターのほか、サポーター数名で毎日運営している。この人材の確保が難しい。コーディネーターは直近の半年で3人交代している。人数もぎりぎりな状況。足りない日は、保護者が農家の仕事を休んでスタッフに入ることもある。このスタッフの確保を地域で任されているが、市でお願いできないか。鳥沼の地域だけで人材を探すのは限界がある。これまでも全市で探したり、上富良野からきてもらい対応している。市で人材を確保するシステムを検討してほしい。

○9線2号から8号の間で、9線から下がってきたところに橋があるが、雨が降ると毎回、道が削られて流される。市道と敷地に入るところが深く削られる。何回も市に直してもらっているが、なんとか改善してほしい。現状も悪いので確認をお願いしたい。

○3月の大雨では7号川が氾濫し、市に土嚢を積んで助けてもらい感謝している。7号川は、十数年で何回も工事を繰り返しているが、土砂を上げているだけで抜本的な解決になっていない。50年以上経つ川なので、雪解け水の対策と大雨のときに出る土砂が原因で、上の方が暴れ川になるのでなんとかしてほしい。

○鳥沼は農村地区、9線から上の4号、5号、7号、8号、2号と4号の一部がまだ舗装になってない。埃が飛んで畑に入るので、簡易舗装でも良いので舗装化してほしい。

○この地域の30年先のことを考えたとき、人口減少のことも含めて、鳥沼会館に併設されている保育所は撤去の方針を固めた。

○鳥沼地区の道路に関する事で、去年、一昨年と相談を進めてきて、3年前の台風被害か

いても同じような状況があります。いただいた意見を少しでも改善できるように、市としても考えていきたいと思います。

○大雨のときは連絡をいただいて改修していますが、抜本的な解決となると現場を確認し、工法を検討しなければなりません。鳥沼地区は、雨だけでなく、泥炭地、凹凸のはげしい部分もあります。この部分については、ひどいところから順番に対応しているところです。7線の交差点もかなりひどい状態になっているので、早急に手当てをしていきたいと思っています。現場確認し、抜本的にどうしたら良いのかを検討させていただきます。

○7号川は大雨の度に土砂上げをしています。抜本的な改修は難しい部分があり、工法検討しているところです。場合によっては地域のみなさんに土地の提供も含めて検討していかないと抜本的な改修はできないと考えています。工法については、時間をいただき内部で検討させていただきたいと思っています。

○未舗装の道路ですが、全市的にも多くの要望が出ています。市の舗装率は全体の50%を切っている状況です。そのほとんどが農村部です。各地域で早くして舗装してほしいと要望を受けています。予算に限りがありますので、条件としては2戸以上で、張り付けの戸数が多いところから、交通量が多いところから順次計画的に対応しているので、ご理解をお願いしたいと思います。

ら、滞っていた道路を直してくれている。また、ベベルイ川は道の単独事業が行われているが、他の災害の関係にも費用がかかるため、国の補助を得ながら下の方から進めている。このことは地域の会議でみなさんの了解を得ながら続けたい。

○7号川、2号川、5号川など、山の上の牧草地で伐採が進んでいる。特にひどいのは北8号の関係。3年前の集中豪雨のときの鉄砲水で、付近の住宅は家の前が削られて大変な思いをした。昨年と今年は、8号の上で20ヘクタールが伐採され、さらに5ヘクタールが今年の冬に伐採されると聞いた。また鉄砲水になって一気に鳥沼地区に水が流れてくると予想される。森林組合とも調整してほしい。伐採の後の植林も国の助成があると聞いている。次の世代のことを考えて、鳥沼地区を考えていきたい。3年前の鉄砲水よりもひどい被害が発生すると予想される。伐採した後、治水の効果がでるまでの間、砂防ダムのようなことも検討してほしい。

○昨年、連合会と鳥沼水道組合で、酪農家で浄化槽を作るという説明会があり、先月、浄化槽のことを農林課で確認してきた。この場で、浄化槽設置についても報告をしてほしい。

○毎年話題にしているが、鳥沼地区には、光回線が全戸に届いていない。NTTに申し込みしても契約書送付時に断られる。観光地で、外国の方も多くみられるので、光回線を全戸届くよう検討してほしい。

○森林伐採には計画が必要です。伐採後は更新することが前提となっています。民有林は森林組合と調整しながら、切ったままにはならないよう計画的に進めていきたいと思いません。

○森林制御は植林がすすんでない状況です。国の補助は95%ですが、残りの5%を木の売却利益で補てんすることが重いのではないかと思います。植林が進まない状況については、市も支援をしながら植林をしていく方法を検討しているところです。森林が終末期を迎えているのは沿線でも同じ状態です。森林組合は富良野と南富良野に分かれています。悩みは一緒です。現在、2つの森林組合をひとつにして、植林の部分をしっかりしていく体制の構築を検討しているところです。

○酪農家での糞尿処理のため、昨年、浄化槽を設置しました。量と濃度を制限して散布しています。散布の量は、適正な範囲になっています。浄化槽の設置にともない過剰に散布するような状況ではありません。適時、市も状況を把握していきますので、お気づきの点があればご連絡をいただきたいと思います。

○光回線の整備ですが、昨年度、総務省の補助事業により、農村部の学校と公共施設までの41.3kmを整備しました。光回線ケーブルから電柱で3スパン分の範囲は加入できるようになり、475世帯が新たに加入できるようになりました。9月末現在、約1割の53世帯が加入している状況です。農村集落では加入できない世帯が約1,400世帯あります。仮に全部を整備するとNTTは10億4,400万円かかると試算しています。加入率1割程度では費用対効果から厳しいと言われていています。NTTはADSLを2023年1月で終了しますが、光回線が整備されていない地域の方針まだ定まっていません。また、スマートフォンの4G回線は、早ければ2020年に大手3社が5Gのサービスを提供するとの報道もされています。5Gは、4Gより100倍早く、通信容量

は、1,000倍多く、光回線よりも10倍早くなります。来年のラグビーワールドカップで試験を行い、2020年のオリンピックにはサービスを開始したいといわれています。仮に、5Gと4Gの通信料金に大きな違いがない場合、光回線の必要性について議論されているところです。しかし、NTTはある程度の契約予定者が見込めるなら、契約予定者に対する整備費用を算出し、費用対効果を調査検討するとの話もありますので、光回線の整備が必要だという戸数が、あるていど見込めるときは連絡をいただき、市としても一緒にNTTへ要請したいと考えています。

【市長 閉会のあいさつ】

長時間にわたり説明を聞いていただきお礼を申し上げます。JRと新庁舎の関係では、市民のみなさんにご心配をおかけしていることは理解をしています。JRの関係では、膨大な赤字を地方がすべて埋めることにはなりません。自治体ができる範囲での負担を覚悟しながら、11月末から始まる再編計画を議論していくこととなります。本日いただいたご意見を基にして、JR北海道と協議をしていきたいと思っております。

庁舎の関係では、様々な観点からご意見をいただきました。資金や防災の関係などは、検討委員会のなかでも逐次、求められる資料の提出をしています。検討委員会の中身については、みなさんにも見ていただくよう、設置場所の検討をしているところですが、市役所にも設置していますので確認をしていただきたいと思っております。

生活と人口の関係では、30年後の人口が1万4千人から1万6千人という推計がでていますが、人口減少を何とか止めていきたいと検討しているところです。2017年から2018年は、300人くらいの人口減です。その前の年は360人くらいの減少でした。このままでいくと、10年間で3,000人が減少することになります。このままでは人口は2万人を切るようになりますので、年間の減少を200人くらいに抑えられないか。若い方々に富良野に留まっていただき、富良野に帰ってきて仕事に就いていただき、子育てをしているお父さんお母さんを支援していくなど、若い方々にとって住みやすいまちにしていくことも、ひとつの方策だと考えています。

人材不足の関係でも、そうした環境をまちのなかにつくっていくことが求められています。そのひとつの手立てとして、住宅対策や生活に関わる支援が大事だと考えています。企業誘致に関係では、昔は企業が来て雇用の場をつくるのが主でしたが、現在は、人も一緒に富良野に来ていただき、企業が入ることで人の流れをつくっていただき、そのような企業誘致をしていきたいと思っています。

本日の地域懇談会では、地域の課題や大きなテーマについてご意見をいただきましたが、この後も引き続きご意見をいただければと思います。一つひとつ、市民のみなさんからいただいた意見を実現していくことで、住みやすいまちづくり、魅力のあるまちづくりになりますので、ご協力とご支援をお願いします。本日は、最後の地域懇談会です。貴重なご意見をいただき、大勢のみなさんに参加をいただいたことを重ねてお礼を申し上げます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
20-29 歳	女性	説明の資料が分かりやすく良かった。企業的な自治体を目指すという言葉に私も納得しました。自分たちで何かを生みだしていかないといけないかもしれませんね。
40-49 歳	女性	これまでも要望してきましたが、通学路の安全確保のため、ガードレールの設置、アスファルトの舗装、横断歩道の設置などを目に見える形ですすめてほしい。全市で通学路の危険カ所があるが、鳥沼地域でも改善してほしい。